

## 国語科における平成29年度授業改善推進プランの検証

### 取り組みにおける成果と課題

- ・国語に対する関心が高まるように、学習方法や掲示物などの工夫をしてきた。その結果、物語や詩・俳句に関心をもつ児童は増えてきた。しかし、関心意欲のポイントは学年により違いが出てきている。発達段階に合わせて、関心意欲がもてるような指導の工夫が必要である。
- ・文章の内容や要点に注意しながら、自分の考えを明確にして読むことを指導した結果、物語だけでなく、説明的な文章の内容も少しずつ読み取れるようになってきているので、さらに確かな力を付けていきたい。
- ・学年によって理解が十分でない領域があったが、日常生活や授業において言葉に対する意識を高めていったため、漢字の読み書きや言葉の学習などの力も付いてきている。さらに、話を聞き取る力を付けていきたい。

### 国語における調査結果の分析

	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
観点別結果の分析	・4年生は目標値を上回ったが、5,6年が目標値より低かった。国語に対する関心意欲を高めていくためにも、低学年から学年に応じて、掲示物や学習方法の工夫をしていきたい。	・どの学年も目標値を上回った。しかし問題別で見ると、聞き取ることが目標値より低い学年もある。相手の意図をつかんだりメモを取ったりしながら聞くことに慣れさせたい。	・4年生は目標値を上回り、5,6年生は下回った。段落構成を考えたり、自分の意見とその理由を区別したりしながら書く力を付けさせた。	・どの学年も目標値を上回った。特に物語の内容を読み取る力が付いてきた。学年により説明的な文章の読み取りが目標値に達してないので、説明的な文章について継続的に指導していく。	・全学年で、目標値を大きく上回っている。言語に関する知識理解をさらに深めていくには、国語全体の関心意欲を向上させる必要がある。

### 調査結果に基づいた授業改善のポイント

- 1 国語に対する関心・意欲を高め、言葉に対する感覚や語彙を豊かにしていく。  
→授業に限らず、日常的に様々な言語活動を取り上げ、学習活動や指導計画を工夫する。
- 2 相手や目的、意図に応じて、文章構成を考えたり表現を工夫したりしながら書く力を付けさせる。  
→文章全体の構成を考えて書くことや、いろいろな表現の仕方を具体的に指導する。
- 3 文章の内容や要旨を捉え、自分の考えを明確にしながら読む力を付けさせる。  
→文章の構成や要点に注意しながら読んだり、文章を読んで考えたことを発表し合ったりさせる。

### 国語科の授業改善策

#### ・国語に対する関心・意欲を高め、言葉に対する感覚や語彙を豊かにするために

全・・・季節を意識しながら俳句や短歌、詩に触れさせ、楽しんで音読したり自分で俳句や詩等を作ったりさせる。国語に限らず様々な活動で発表場面を設け、適切な言葉遣いで話す習慣を付けさせる。

低、中・図書ボランティアを活用する。本の読み聞かせ等の時間を確保し、読書の楽しさが味わえるようにする。関心をもった言葉の意味や使い方を、国語辞典や漢字辞典で調べさせる。

高・・・矢東タイムを活用して読書の時間を確保し、日常的に本に親しませる。俳句や短歌・慣用句・古典等に関心もてるよう、視写したり感想を交流したりさせる。

#### ・相手や目的、意図に応じて、文章構成や表現の工夫を考えながら書く力を高めるために

低・・・書くことで自分の思いを伝えられる楽しさが感じられるように、行事や生活科とも関連させながら書かせる。経験したことや想像したことの順序を整理させ、簡単な構成を考えさせる。

中・・・書こうとする中心が明確になるよう文章構成を考え、自分の考えやその理由・根拠をあげて書かせる。理由の場合は「なぜかという～」「その理由は～」等、表現の仕方を指導する。

高・・・話のメモを取るなど様々な場面で書く活動を取り入れる。また段落構成を考えながら書くことにも慣れさせる。具体的に学んだ効果的な表現方法を文章の中で進んで使わせていく。

#### ・文章の内容や要旨を捉え、自分の考えを明確にしながら読む力を高めるために

低・・・説明的な文章の本も、楽しんで読もうとする態度を育てる。書かれている事柄の順序や場面の様子に気を付けながら読ませる。

中・・・いろいろな種類の本に関心をもたせる。段落相互の関係を考えたり、内容の中心を捉えたりしながら読ませ、自分の考えや感想などをまとめて交流させる。

高・・・目的に応じて、本を選んで読ませる。文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実・感想・意見を区別したりして読ませ、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。